必殺技

必殺
HISSATSU

おい！　後ろに何かいるぞ！

ことわけで、毎度お馴染み、初めての人は歩く排泄部製造機ことヤスイリオスケにうちはびでは。この本を手に取っていただき、誠にありがとうございます。アナタのお母さんは今頃泣いてますよ？

そんなんじゃ、アレなんですが、今回は『Fate/hollow ataraxia』であります。

バッドエンドに続くキャラ、特殊能力として『描いても描いても描いても』と囁き続けるあいきゃんの神秘パワーが発動。読者のみなさまは、なぜ『せいぜい』と言ってしまうのか、まぁ、バッドエンドなんだよ、なぜ『せいぜい』なんだ！　バッドエンドなんだ！

そんなバッドエンドな方々のために、一つの能力、『乳デカく描きすぎ』を極めて、深道ランキング1位を目指す。

しぎ道を描くと、乳がデカくなる。コレは仕様なんだよ、始まりますマジで。

じゃあ、次は、アレです。

あ、言ってないけどね、アレです。

ぐ、言ってないけどね、アレです。

ぐ、言ってないけどね、アレです。

ぐ

またここから始まる――

苦痛・憎悪・嫉妬・憤怒
エトセトラエトセトラ…

遍く負の感情に満たされた
おぞましく汚らしい世界

地獄の底を連想させる
この場所で私は覚醒し

苦痛の深遠から
浮き上がる

何度目かの初日――
当たり前のような既視感
そして――

はっ――あ…っ

よう――
目覚めたなマスター

傍らにはいつもと同じく
小憎らしい顔をした
私のサーヴァントが――

さて――そんじゃあ
楽しい聖杯戦争といきますか
行けるかいマスター？

ん…っ

いつもと同じ口調――

おかしい――
私は彼の声に安堵している…？

カチッ

カチッ

だ――大丈夫です
時間を無駄にしたくありません
今すぐ出かけましょう

…あのさー
その格好で夜の街に
出掛けるのはどうかと思うけど？

は？

それともオレを誘ってるのかな～？

??

何を言って――

にゃん

あっ!?

ドドーン

ぎゃぁぁぁぁぁっ

しっかし…そんな重そうなのブラ下げてよくもアレだけ戦えるなマスター

ニンゲンってスゴイね

うっ…五月蝿いっ!!そんな…いやらしい目で…

アベンジャー!…貴方まさか私が寝てる間に何か…その…ヘンなことしてないでしょうね…？

はぁ？　ヘンなこと？

たっ…例えば…

…ったく――
寝姿だけは
無防備なんだよなぁ

…っ

普段から
こう女らしいと
助かるんだけど――

す――…

…にしても

ん～たまんない
肉付きしてんねホント

ん…

す――…

たぷっ…

ぷに…

こいつぁイタズラしない方が
礼を失するってヤツだよなぁ

ん…っ

ぷにぷに…

んっ…
服の上から見てもたいしたモンだけど――
ん…ぅ
実際すげぇボリュームだなこりゃあ
は…ぁ…っ
んぁ…っ
あ…っ
あ…
ふぁ
ははは…意識無ぇのに感じてんのか？
面白ぇ！

そういうことなら
こっちも気持ち良くして
もらわんとイカンよね

やっぱりアレだな
マスターとサーヴァントは
苦楽を共にしてナンボだよな

ぐぃ!?

んっ…ん―

は…む…っ

ぴくっ

ほーらマスターの大好きな
おちんぽのお時間ですよ～

なんつってな

ちゅぽ

おっ…お！
コレはなかなか…

くぽっ

じゅっ

んぶっ…！

ずぽっ

ふ…っ

…流石につまんねぇな
舌くらい気合で
動かせっつーの

ぐぃっ

う…っあ

はぁっ

はっ…あ

つーかコレだけして
目覚めないってのも
スゲェけど

ぴくっ
あ…んっ
そうだ…こっちを使って——
ぐにっ
は…あん
挟んで…しごいたら…っ
たぷっ
たぷん
うわっ——こりゃあマジでヤバイかも…っ！
ふぁ…
はぁっ…
あ…く
ぱちゅっ
ぱちゅっ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
パ
んあ…っ
たぷん
ふぁ…
たぷっ
ゾクッ
ゾクッ
はぁ…っ
たぷっ
ズリュ！
ズリュ！
ズリュ！

うっ…あっ！
いくっ…!!

ビュッ
ビュル
ビュッ

は…あ……っ

ん…っ

へへ…こりゃ
病み付きになりそうだ

ズ
ズ

んむっ

目が覚めるまで
何発抜けるかな——

うぐっ

おーいマスター？
聞いてマスカー？
ボサっとしてねーで
出かけるなら
さっさと行こうぜー

あっあっあっ貴方わっ!?
私が抵抗しないのを良い事に
そんな…いやらしいことを…っ!?

いやらしいこと？
何言ってんのか
よくわかんねぇけど…

確かに退屈だったからな
無駄に美味そうなアンタの死体
隅から隅まで犯してやるのも
オツかなぁと思ったけど——

なっ…あ
貴方はっ!?

だーかーらー
思っただけだってば
アンタの死体にゃあ
手ぇつけてないっつの

ドクン

アンタみたいなおぼこい処女は
生かしたまま犯して殺して貪ってだな
苦痛と快楽と絶望の
オモシロ百面相を堪能するってのが
セレブの間では大流行なのデスヨ?

しょ…って!

ふふ…ふ…アベンジャー…
貴方は私が想像していたより
ずっと愉快な生き物ですね…

ギュ…

ほんの僅かでも可能と思うなら
いつでも私を殺ってみるといい

それと――
前にも言った筈ですが…
私は…その…処女では――

え――?

ボスッ

きゃっ!?

なっ…
アベンジャーっっ!?

流石のアンタでも
黄泉返った直後じゃあ
満足に動けないだろ?

だから今がアンタを
襲う絶好の機会ってヤツ

やっ…やめなさい…っ!
令呪で拘束しますよっ!?

いーや
アンタはこんなことで
令呪は使わないね

ふぁっ!?

アンタは目的のためには
手段は最大限吟味して
最小限に小出ししてくタイプだろ?

今だって
慌てるフリして頭ン中じゃ
どうやってこの状況を
打開するか計算してる

や…あっ

だから——
そんなこと考えなくてもいいほど
メチャクチャに犯してやるよ…!

やぁ…あ

だ…め

あ…あ

ななななな
何を考えて
いるんだ私はっ!?

ギャガーン!!

マーースーターーーアーー!

アレは粗悪なパクリとはいえ
拝火教の悪神…
全ての邪悪を司るモノ!

英霊とは名ばかりの
品性下劣な輩を相手に
間違ってもそんな——

ドドド

やっ…やめてっ
こんな…あ！
ぎゅっ
むぎゅ
ひあっ!?
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
あっ!?
なら力いっぱい抵抗しろよ
その方が面白いしな
でもアンタ
抵抗できないだろ？
あうっ！
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ

ふぁ…あ…あ…

ちゅっ…

ちゅぷ

しゅるる…

ぴくん

むぎゅ

もにゃっ

ぐん

は――…

この程度でヘバんなよ…
だらしねぇぞマスター？

アンタこっち方面の経験
ほんっとに無いんだな

あっ

ぴくんっ

あ…う…

びくっ…！

ぜぇ…ぜぇ…

はぁ…あ…ふ

ぜぇ…

ぜぇ…

それはそれで
犯し甲斐があるって
モンだけど――

はうっ!?

やっ…ダメっ！
待っ――

だからぁ
ダメもクソも無ぇんだって

ぐぱっ…ぷ

あぁあっ

ぶるっ

ん…流石に…キツいなぁこりゃ

ヌチ…

ビクッ

ビクッ

くっ…あ…ぅ痛…っ…いたい…っ！

ん～まぁアレだ苦痛も快楽も似たようなモンだし

ひ…ぐ…っやめ…て…っ！

は―…

は―っ

ふ…っ

ズッ

ドクッ

あっ!!

ぜぇ…

おまんこトロトロにして
尻の穴までヒクつかせてさ

ぐぷ

ひぁ…っ！

ジュプ

あ…ぐ

言った通りだろ？
犯されて悦んでる

あっ

はぁ…っ

はぁ…っ

だっ…誰が…
こんな…っ！

ずぶっ

ずぶっ

ずぶっ

ずぶっ

たぷっ

たぷん

たぷ

体…回復した…ら…っ
必ず…後悔させて…
やる…か…らぁ…っ！

んん～強情だなぁ
アンタも

そーゆーこと
言っちゃうなら
とっておきのアレ
使っちゃおうかな～

え…っ…あ
アレ…って？

チュポ

チュ～～～…

むに

むに

んあっあっ

とっておきつったら宝具に決まってるっしょ

ビクッ

ジュル…

ニィッ…

宝…具…っ？

オレの宝具…『偽り写し記す万象（ヴェルグ・アヴェスター）』なご存知の通りオレが受けた傷をそのまま相手に与えるっつーシンプルな呪いなワケだが——

それをこの状況で発動したらどうなると思う？

察しの悪いマスターだなぁ！アンタに与えられた傷をそのままアンタに返す…つまり——

どう——なる…って？

ぶっちゃけて言うとオレの射精感をそのままアンタの快感に上乗せできるってこと

ドキドキ

なっ!!?

キュンンン…

なっ…バカな…っ！そんなことに宝具を…っ！

たしかにこいつぁ一人に1回しか使えないっつー限定条件があるんだけども——

ドンッ

一周して初日に戻ればまた使えるワケだから遠慮しないでいいぞ

ぎゅ

ぎゅっ

やっ…ダメ…っそんな…のっ！

お…もう
イキそう…っ！

だめっ！
だめぇっ！

だめってば…あ！

イクぜ
バゼット…っ！

あっ…

おらおら
ヘタってるヒマなんか
無ぇぞマスター！

あ…

ひくっ

は――…

ひくっ…

アンタの分厚い鎧引っぺがして
オレに相応しいマスターとして
調教せにゃならんのだから！

は…ぅ

ふぁ…？

まずはコイツを
キレイにしてもらおうか

チュ…

チュパッ

んっ…

んぶ…っ

ぐぷっ

ぐぽっ

ぐぽっ

んっ…ぅ

そうそう…
一流のマスターたる者
サーヴァントの世話は
しっかりしないとな！

はふ…っ

ちゅぷ

ちゅる…っ

れろ…

あむ…っ

よぉーっし！　ついに
マスターとの意思の疎通に成功！

フル。

フル

フル…

や…あ…っ
まだ…休ませて…っ

間髪入れず
ドンドンやっちゃう――
そっと！

ずっ！

ひあっ!?

ビクッ

ぶぷ

ぶぷ

ぶぷ

ぶぷ

は…ぐ…そっちは…ぁ
ちが…っ…あ！

あ…くっ

ビクッ

ビクッ…

はぁ…

ビクッ！

よし――これだけ
ほぐしておけば…っと

ぐっ…

そんな…ムリ…っ
だっ…ぁ…あ！

凹凸
はうっ!?
ビクッ
あっ!?
ぷるぷる
ぐすっ
慣れちまえば尻の方が良くなるかもよ…っと!
あっ!

へへっ――かわいい尻の穴がきゅうきゅうと締め付けてくるぜ?
ブルッ!
ブルッ
ひどい…こんな…ぁこの…ケダモノ…っ!
なーに言ってやがるアンタだって相当のモンだぜ?

ぬぷっ
ぬぽっ!
ビュル
ぬぷっ!!
尻の穴にちんぽ突っ込まれて精液垂れ流してよぉっ!
あぐっ
ドピッ
ドピッ!
あっ
封印指定の魔術師様ってな随分な淫乱じゃねーか!?
パン!
パン!
パン!
パン!
ぐぷっ
ぐぷっ
ちが…あ
ひ…あっ

いい加減認めちまえって！

やっ…あ♥

んあっ♥

「前も後ろも犯されて感じてます」
「わたしは淫乱マスターです」ってよ！

ぶるっ

ぶるっ♥

ぶるっ♥

キモチ…っ♥

イイ…おおっ♥

あははっ！
そうだよマスター！
それでこそだ！

なんで…っ
こんな…あ♥

はーっ♥

あっ♥

おしり…っ♥

きもち…っ
いい…の…お♥

アベンジャ…あっ♥
わたし…こんな…あ♥
あ♥
はーっ♥
あ♥
素直でかわいいぞ
マスター…

どうだバゼット？
尻とまんこ…
どっちがイイか
言ってみろよ？
ひあっ♥
ぴくっ
びくっ
ズボッ!!
ズ
ズポ
ズ

ゾクッ
ゾクッ
ゾクッ
はふ…ん♥
ん…っ♥
モニュ
チュ
チュ
ムニュ
ぷっ
ぷっ
ぷっ

あ〜〜っ♥

あうっ♥

ああ——っ♥

たぷっ

たぷっ

たぷん

あ〜〜っ

あ♥

ずぷっ

ずっ

ずぷっ

ずちゅ

んあ…あっ♥

くっ——イク…っ！
尻の穴に出すぞっ!!

ぁ…して…っ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

キュウウッ

出して…ぇ♥
いっぱい…っ♥

ズズズズズズズ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

いっ…
や…ぁ♥

私も…っ
いく…ぅ♥

ビクビク

いくっ…
イクから…ぁ♥

たぷっ

たぷっ

たぷん

ビュッ
ビュッ
ビュッ

はっ…う…

ようマスター
目が覚めたか？

アベンジャー…？

それじゃあ
続きといこうか

阿●じゃん!!?

ビビッ!!!

阿●でした

■はい、というわけでね、いかがでしたか。
■見所はやっぱり、なんといっても、アベ
■ンジャーのボディに細かく描き込まれた
■刺青ですね！　手前味噌でアレなんです
■が…え？　描き込まれてなんかいないっ
■て？　ちょ…え？　マジ？　見えないの？
■ソレってちょっとヤバイって！　目が！
■折角お買い上げいただいた皆様にこんな
■こと言うのは心苦しいですが…病院いっ
■たほうがいいですよ？　マジで。ボクが。

■そんなこんなで、今回はバゼットさん本
■だったわけですが、やっぱいいね、バゼ
■ットたん！　もう、俺脳内設定ではかな
■りの乙女ね、このコ。一途に尽くすタイ
■プよ。もうホント、両極端思考の封印指
■定魔術師ですから、もうね、一度デレに
■入ったら、もうスゴイ尽くしてくれるの
■ね。で、甲斐々々しくも料理覚えたり、
■いろんなエロテクを自習して色々してく
■れるね。マジで。乙女ですから、そりゃ
■あもう顔を真っ赤にしてさ。乙女ですか
■ら。しかもエロテクの仕込み元が、コン
■ビニで立ち読みしたエロマンガとかレデ
■ィコミだから、いちいち間違ってるのね。
■もうね、立ち読みしながらコンビニのお
■でんとか勝手に食ってんの。乙女ですか
■ら。ホットケースの中にから揚げあるの
■に、「揚げたて食べたいから」とかムリ
■言って店員をムカつかせたりすんの。乙
■女ですから。萌える。そうか？

■でまぁ、話は変わって今後の予定ですが
■次も『Fate』でいきますよ。バゼットた
■んが描き足りないってのもあるけど、他
■のキャラも描きたいんで。カレン描きた
■いね、カレン。カレンも何だかんだ言っ
■て乙女ですから、そりゃあもうコンビニ
■で立ち読みですよ。店員が忙しそうなの
■に、来たばっかの雑誌の束のヒモ切って
■ジャンプ出せとか言いますよ。でも買わ
■ないの。乙女ですから。店員が後で床掃
■除してんのに立ち読み続けんの。乙女で
■すから。で、勝手におでん食ってんの。
■素手で。乙女ですから。萌える。そうか？

■そんなこんなで、このたびはお買い上げ
■いただきアリガトウございました。気に
■入っていただけたら今後もよろしく。

■ヤスイリオスケ■

ひあ…あ…っ♥
ほら――バゼット どうして欲しいか 言葉にして
あ♡
…入れて…っ♥
あ♡
何を？　どこに？ ちゃんと言わないと――
はぁ♡
おちんちんを…っ♥ 私の…おまんこ…に 入れて欲しい…です…っ♥

は…あ…精液…っ
せーえき…い♥
あつ…い♥
もっと…お♥

ひぁっ❤
あうっ く…あ❤
こんな…っ あ…あ❤
はっ♡
あ♡っ
や…♡あ
だ…め…ぁ❤ わたし…っ
もっ…と❤

わたくしの…っ
おまんこ…お♥
もっと…っ♥
激しく…っっ♥
あっ♡
あ♡
あ♡
はっ…あ
シェロっ♥
シェロ…おっ♥

■奥付

■誌　名：必殺
■発行者：ゴロメンツ
　　ヤスイリオスケ
■発行日：2005年12月30日
■印　刷：コーシン出版

■URL：
http://red.sakura.ne.jp/~yakkun/goromenzs/
■Mail：
yakkun@red.sakura.ne.jp

PRESENTED BY GORMEN
FOR ADULT ONLY